

平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	基本測地基準点等災害復旧経費		<b>担当部局庁</b>	国土地理院		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H23/H23		<b>担当課室</b>	企画部企画調整課		佐藤 潤		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	4-1 国土の位置・形状を定めるための調査及び地理空間情報の整備・活用を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	災害対策基本法(第八十七条) 測量法(第四条、第十一条～第三十一条)		<b>関係する計画、通知等</b>	防災基本計画(平成20年2月18日中央防災会議決定) 基本測量に関する長期計画(平成21年6月1日国土交通省告示第608号) 地震及び火山噴火予知のための観測研究計画(平成20年7月17日科学技術・学術審議会建議)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	復旧・復興事業を支援するために、東日本大震災の地殻変動により変動が著しい基準点(水準点・三角点)について、復旧測量を実施し測量成果の公表を停止した基準点の測量成果の改定を実施する。併せて、被害を受けた電子基準点・地殻変動観測施設・験潮場を復旧するとともに、防災上重要な地殻変動観測を継続的に実施するため、電子基準点の防災対応能力向上を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測地基準点(水準点・三角点)の復旧測量</li> <li>・電子基準点の復旧等</li> <li>・復興支援のための高精度標高データ整備</li> <li>・航空機搭載型合成開口レーダによる湛水域の観測</li> <li>・航空レーザスキャナ装置の整備</li> </ul>							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算				3,439		
		繰越し等						
		計				3,439		
	執行額							
	執行率(%)							
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	・迅速な復旧・復興支援に資するための経費であり成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績					
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	東日本大震災による地殻変動を踏まえた位置の基準の提供		活動実績(当初見込み)				( )	— (基本基準点(水準点)2,600km)
<b>単位当たりコスト</b>	(円/ )		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・発注先の選定にあたっては、緊急性を考慮した上で公平性及び透明性の確保を図る観点から、基本的に一般競争入札、簡易公募型プロポーザル方式による手続きを経た上で、発注先を確保し、請負契約を締結している。</p> <p>・業務の実施にあたっては、作業体制及び作業計画表の事前確認を行うとともに、工程管理を通じて実施内容、支出先や使途について明確に把握できるよう適宜確認を行っている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					